THE WOMAN'S WEEKLY

第三巻第二十七號

大正六年七月五日發行（毎週金曜日發行）

大正三年四月十一日第三種郵便物認可

婦人週報

目次

□美人過重……小橋三四子
□時事週評……
□日本の印象……河上清
□戀愛問答の五分間「隠れたる女詩人野口精子女史」……
□人生は旅路……矢島楫子
□いろ〳〵の社會「夏の議會」……I子
□讀者から……
□自國の動亂に覺醒せる支那婦人……K子
□女の先生の印象「神田小學校にて」……民子
□低級勤め人を夫に持った婦人の苦境……薄田斬雲
□氣に入った避暑地……淺田みか子
□冷たい飲み物……櫻井ちか子
□[illegible]「自然兒」……[illegible]子
□[illegible]「稲妻」……安中花子
□小說 雜草……茅野雅子
□見合失敗物語「名聲に反比例した容貌」……近藤浩一路
時事……編輯室より

定價 一部金五錢（郵税五厘） 婦人週報社

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

七月二日より

中元御贈答品賣出し

（ちゆうげんごそうたうひんうりだし）

東京

越

三越呉服店

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

美人過重

□世の要求か

美人は天才と同様、天與の恩寵を受けたものとして、得難い寶のやうに尊ぶ計りでなく、何人もこれを好まぬものはありません。嫁を娶るなら成るべく美人を、子を生まば成るべく美しくとは、萬人の等しい希願でありませう。數日前都下の某新聞は、曾て萬龍の名を以て、一代の名妓として謳はれた故恒川陽一郎氏夫人靜子と、早稲田大學教授岡田信一郎氏との結婚を報じてありました。個人的に此の結婚に何の不都合があるのでもありませぬが、假りに靜子夫人の美貌を引去つたら報道の價値も無いての記事を、堂々たる大新聞が、重要の紙面の幾段かを割いて、二段拔き一號活字で報道してあるのを見ると、いかにも人氣に投ずる新紙が、特種の好材料として取扱つたもので、同時に世人の要求の奈邊にあるかを窺ふ事が出來て面白いと思ひました。

□婦人は國の盛衰を語る

「婦人に凡ての働らきを開放せよ。然らざれば婦人の寄世生活は國家を食み盡すべし」と叫んだ、オリーブ、シユライナー女史は婦人が細く纖弱な手を長椅子にもたせて、金銀寶玉に身を飾り、只性を以て男の保護の下に寄生し、其の裝飾となり玩弄となる時は、必ず脊には子を負ひ、目には鍋の煙りを目守り手に重い桶を下げた勞働的婦人を有する國家に征服さるゝといふ意味の事を云つて居りますが婦人が漸く勞働を離れて、裝飾品化して行くは、文化の餘弊であります。此の時よく勞働する太く逞ましい手足よりも、美くしく裝飾された華奢な體格を喜び、內容の堅實を問はずして、顏の美醜を専ら問ふ傾向を生じます。而して今日は我が國家が漸く此の傾向を見せて來たのは果して喜ぶべき事と申せませうか。

□美貌を生命とする傾向

私の許に「身の上相談」に來る人々の中にも「お前のやうな無器量では、貰ひ手もなからうから、事務員にでもなつて働らけと申されました」と、親兄弟に云はれて、小膽な正直な娘心は顏の美醜を超越した境に身を置く事を知らず、世に出でゝ最初の失望を感じつゝ、賴りなげに職業を求めに來るものが、屢々ございます。美貌のみが女の生命ではなからうものを、いかにも心ない宣告をしたものよと、其の親兄弟を憎むと共に、卑屈にされた其の娘を限りなく憐れな事に思ひます。而して今日恒川靜子夫人がいかに賢明であつても貞操があつても、それに勝るとも劣るまじき婦人は社會に充滿して居るにも拘らず、其の美貌の故を以て、一人と得難き婦人の如く取扱はれる社會はまた美貌なくしては女に生命はないとの輿論を高めつゝあるかの如く見えます。この輿論が輕佻なる人々によつて面白半分に作られて居る事を理解しない若い人々にとつては、恐るべき感化を與へる事になりはせぬかと厭はれます。

□因襲の破れた社會

歐洲の文化が爛熟して、婦人

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

は只社交の用具、男子の爲めの必要品視され、心ある者が其の誤まれる文明を矯さんとして、「自然に歸れ」との叫び聲が頻りに起つたのは數年前でありました。然し滔々たる世の濁流は之れを阻むに由なかつたのでありますが、突如歐洲大戰亂が起りました。この大打擊は惰眠に陷らうとする國家を醒まし、虛飾は忽ちに擊退され、人々は再び地から生え拔いた眞劍な生活に立ち歸りました。そして虛禮や浮華の淺墓な事に使つた心勞を、我が生命、國家の保護の爲めに注いで居ります。危機に立つて因襲を破つて見れば、女も亦働らいてわが食を得るのみならず、國家社會を護る爲めに、其の手を其の頭を傾けなくてはならぬ事が、明らかに實驗されました。此の時に當つてはもはや容姿を問ふ暇もなく、實力第一といふ事を感ずるやうになりました。

□根底深き文明

戰後は敵も味方も浮華の文化を一洗して、根底深い文明を打建つるに急ぐでありませう。戰亂の餘響は幸か不幸か、我が國を彌よ好況に誘つた結果は、徒らに成金熱や、奢侈の風を殘したのみで、非常なる時局に、何の覺醒をもせずに過したとすれば、彼れの自覺と我れの惰眠とは、國家の進運に非常なる懸隔を作らずには置きますまい。せめて心ある親によつて其の子女を眞面目に導くは勿論、世の木鐸を以て任ずる者は、輕佻浮華の風を增長せざらんことを心掛けるやう自重されたいものであります。（三四子）

時事週評

□門地本位か手腕本位か　前號揭載の通り、愛國婦人會は理事會の互撰により、會長に濱尾男爵夫人を、副會長に小笠原伯夫人を推選せろが、公式の承諾を求むるに當り、小笠原夫人は重任に堪へずとして辭退されました。同會が本年五月の總會に於て、定款改正されて時機に應じたる活動の漸く開始されんとする地盤築かれ、理事の改選によつて新舊人物の交代は美事行はれたるが、副會長問題に至つて遂に行き惱みを生ずるに至りました。然し會長副會長を互選するに當つて、先決問題は門地本位か手腕本位か豫め決して準備する必要があつたのでありませうに、濱尾男爵夫人を會長に推して、表面手腕本位の如くして、しかも副會長に至つて俄かに門地ある人を採らうとしたので、直ちに辭退さるゝの不體裁を見るに至つたのでありませう。我が國の現狀、地方人を牽ゆる上に門地ある人を選ぶの必要あらば、新選會長は舊地位に止り、會長を空位として置かなければ、今後如何なる手數を經ても、到底解決を見る事は出來ないであらうと思はれます。

□物價暴騰と鹽の品切れ　歐洲戰亂につれて運輸機關の不便を告て居る昨今、外より輸入の品は不足なる上に、內地の金融の好況や、支那の變亂によつて、諸物貨は天井知らずの暴騰を示して居ります。米穀の稀有の高値は既報の通りでありますが、近頃は鹽迄が品切れとなつて、二日朝以來市內一部の酒屋には鹽が見えなくなりました。値段も四月中一俵（四十斤入）一圓廿錢であつたのが五月中には一圓廿七錢　同月廿八日には更に一圓五十錢に騰貴して居ります。その原因は鹽の製出に必要な石炭の騰貴に依ると申します。其の他牛乳、木綿等は二割五分以上の騰貴で、梅干用の生梅は實に一粒一錢と呼んで居ります。これは動亂中の支那へ盛んに輸出される結果であると申します。

□小學教員の外國語學習　本誌「讀者から」の通信に見ゆる通り、向軍治氏の好意によりて、市內の有志訓導等は、英佛獨の外國語研究を勵まれて居るさうであります。漸く世界的ならんとする、我が國の國民教育を預る人の頭腦に各國語を通じて、廣く其の思想を吸收することは何よりも大切な事で、これは確かに戰後の國家進運準備の一つに數ふべきものでありませう。各地にこの種の企ての盛されんことは望ましいことです。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

日本の印象

九年目に歸朝して

河上清

氏は米國にある事、前後十二年、專ら新聞事業を研究し、筆を以て日米の親善を圖らる。今回支那視察の途、故國に立寄られたるを幸ひ、其の所感を叩いて此處に掲ぐる事と致しました。

□鼻を突く異臭

海外に在る者は、何れも我が鄕國を瞬時も忘るゝ暇はないが、同時に之れを離れて批評的に見る事が出來る。先頃再渡航以後九年目で横濱埠頭に上陸して、最先きに印象したのは、其處等邊が何となく異臭を放つ事である。溝泥のやうな堀や川の水を、道路に撒き散らすので、それが乾いて惡臭を放ち、且つ黴菌が遠慮もなく撒布するのである。此の一事を以ても、人は文明國といふ事に躊躇するであらう。

□鼻垂れと腰屈り

次に子供の鼻を垂らして居る者の多いのが、著しく目に映つた。實際鼻に故障のある爲めか、不潔な習慣の爲めか、何れにしても米國邊では見られぬ光景である。また腰曲り、殊に女の腰曲りの多いのは、驚ろく程である。これは家の構造が關係するのであらうと思はれる。臺所の用事等は、中腰になつてする事が多く、座敷にあつては甚だ不自由な坐るといふ形式を取つて居る。確かに腰掛ける方が自然の態度に適つた仕方である。

□横着な電話交換手

日本に來て最も不自由を感ずるのは電話である。日本の電話交換手は餘程横着で、心地よく一度で用を足せる例しは殆どないと云つてもよい。こんな有樣なら電話が無い方が寧ろよい位である。亞米利加の交換手等は務めたもので、我れ我れ日本人の聞き取り難い言葉をも、大抵は間違ひなく機敏に用を足してくれる。萬一聞き取れぬ折は、丁寧に問ひ返し、此方の答へに對しては、必ず「有難うございます」と挨拶をする。我が當局は交換手の訓練に、なほ注意してもよいと思ふ。

□不愉快な乘客

電車や汽車はお役人樣の仕事故、係りの者等は威張つて居るかと思ひの外、非常に丁寧で、此處では却つて乘客がいかにもお華客然として横着である。電車の狹い場所を大きくなつて塞げ、車掌の云ふ事を一向聞かなかつたりするので、いかにも殺風景である。汽車の客に至つては、恰も物見遊山でもするかの如く、腰掛けに毛布を敷いて廣い領分を占領し、一端には鞄、一端には空氣枕を置いて城廓を築いて居るなどは、いかにも共同生活に馴れぬ醜さを暴露して居る。

□粗雜な編輯振り

新聞雜誌の類は其の數が增したのみで、編輯振りの粗雜なのには驚かされる。殊に斯界の權威として推される重大な某雜誌の如きすら、其の記事になぐり書きのものが多い。口繪の如きもそれを以て現代美術の代表とするなら、實に寒心に堪へない程粗漫である。

□形式のみの變化

米國に居る間、日本は變つた變つたといふ事を耳にした。成る程丸の內邊には大建築も出來て居るが、他は殆ど何の變化をも認めぬ。これは金持ち計りが

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

金を持つて、後は昔の儘なる事を示して居る。然し一體に形式のみは備つて、内容がこれに伴はぬ。例へば教育にしても制度は備はつて居るが、實體は不完全で、既に中學から入學試驗を施して、志願者の幾割かは振り落され、高等學校に進めば、更らに厳しい入學試驗で、志望者の大多數は拒絶される。

應接間の五分間

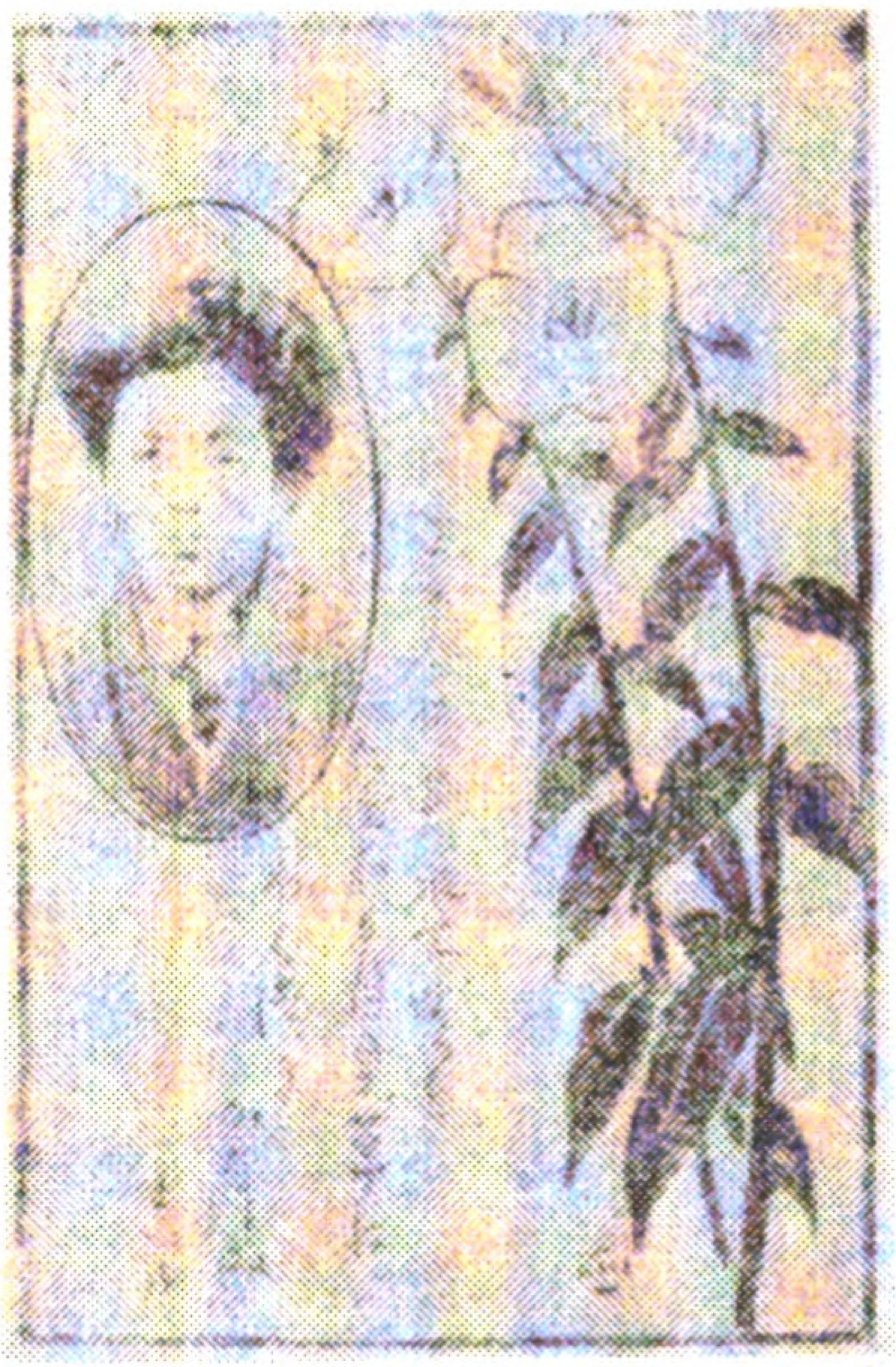
其の十 隠れたる女詩人 野口精子女史

▲夕さればよぢれてばつと花となる月見草にわく淡きかなしみ

暮れやうとしてなか〱暮れやらぬ夏の夕べである。淡き夕月の白い光りを全身に浴びながら、隠れたる女詩人はこんな歌を口ずさまれた。庭には青葉の下に黄色な月見草の花がポツ、ポツと夢のやうに咲いていく。これは四五年上州前橋の旅の宿りに於ける野口精子夫人の夏の夕べの光景である。女史は本郷教會副牧師野口末彦氏の夫人で、歌集『夕ばえ』の著者である。曾つて師になどつかれたことはないさうな。

▲『私は歌をよむ素養も天分も、二つながら貧弱なので、歌なども人様から仰有られると、夫れだけでもお恥しいくらゐでございます。字は數だけ並べて居りますけれど、果してそれが歌と言ふものになつて居るものか、どうですか、唯自分の遣る瀬なき心の躍動に促されて、僅かに歌の形を取つてゐるに過ぎないのでございますから。』と、極めて謙遜し、そして言葉をつゞけられる。

▲『よく人様が歌などよむ暇があつて羨しい、といふやうな事を仰有いますが、私は歌を閑人の暇つぶしの仕事ではないと思つてゐます。歌は玩弄物ではなくして、微かながら自分の全生命、全生活を投げた陰影でありたいと思つてゐます。ですからお勝手をしながらでも、お針の手を動かしながらでも、其處に自分がある以上、詩の世界から離れるものではないと信じてゐます。』と、こんな事を仰有るのであつた。前橋に行かれた時、田舎町の廣い屋敷内に月見草の花が河原へいつたやうにはひ廻つて咲くので、夜な〱その花を見守つて『よぢれてばつと花となる』の歌をお作りなすつたとか。



▲『時々日傭ひの爺やが月見草の莖を草と一緒にぬき取りますので、まあ爺や、それを抜くの、と申しますと、怪訝な顔をして私を見るくらゐ、そんなに澤山草があつて咲いてゐます。夏の夕方になるとほんとに夢の世界に行つたやうな感じが致しましたつけ』とも仰有つてゐた。九州小倉在、柳河の生れで、矢部川添ひの水郷で人となられた方である。幼い日の思ひ出には、

十五まで合歡そだちの我なりし
　柳河こひし水の故郷

夫人は極めて纎細な感じを與へる、溌溂とした方である。

四

口形式保存

日本にも新らしい女が出て、婦人の世紀が來たやうに聞いて居つたが、日本の新らしい女は、西洋の舊い女位に相當して居る或は内は新らしい思想感情を蓄へて居るかも知れぬが、古い革嚢に盛つて居るのかも知れぬ。新教育を施す女學校でありながら、小笠原禮式を教ふるなどを見れば、古い革嚢を無理にも保存しやうとして居るかの如くである。新時代の禮義は紳士淑女の精神から生ずる自然の形式を尊び、敢へて舊い形式に束縛される必要はないと思はれる。

要するに日本の文化を米國の標準に當て篏めやうとするのは無理な話で、何をしやうにも日本は金がないから餘義ない處もある。然し軍艦一つ造る事を止めたら、教育にしろ、文明の設備にしろ、大に改善を促す事が出來やうと思ふ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

人生は旅路

二千五百哩の旅より歸りて

矢島楫子

五月廿六日の夜行で東京驛を出發し、二千五百哩を旅して、六月廿七日三十二日目で歸京致しました。人世を旅路と考へて居る私にとつては、旅行は特別の時ではなく、早く家に歸つて緩くり休まうなどゝいふ氣は毫しも起らないので、行き着く先で聖日を守り、心長閑に働らいたので、少しも疲勞は致しませんでした。先づ大阪では、婦人ホーム創立滿十年、婦人矯風會擴張十八年の祝賀式に連りました。公開大演說會には私と青年會のグリーソン氏が演壇に起ちました。グリーソン氏は「人も十八歲となれば年頃の娘となつて、緣談の申込みを受くるであらうが、矯風會も亦十八歲の娘盛りになられました。私は今日貴會に結婚を申込みたい」と申して、つと壇上で私の前に進み握手を求められました。私は「確かに承諾致しました」と云つて握手致しました。かうして男女の有志が固く心を協せて起てば、飛田遊廓撤回問題も何かあらんといふ心强さを會衆に與へました。

∴

大阪から廣島の招きに應じ次に鄕里の熊本に向ひましたが、親戚知己が餘り多いので、訪へば働らく暇はなし、片手落ちになるのも心苦しいと思つたので、一洋人の家に入り、一切訪問を避けて、親戚達にも皆會に來て貰つて、其處で面會を致しました。禹が外に洪水を治めて八年、三度其の門を過ぎて入らずといふ事がありますが、大事な使命を果す爲めには、私の此の處置も餘儀ない事です。此處で同行の林歌子女史を犒つて

杖なくば何にたよらん荷を重み
　たそがれ急ぐ老の旅路を

と歌ふと、林女史は即座に

暮れもせば燈とりて從はん
　望みの港今は間近し

と返されました。

∴

それから福岡市から長崎に向ひました。長崎の江戶屋といふ宿屋は五十年前私が前半生の失敗から醒つて、新らしい生涯に入らうとして上京の途、船出を待つて五日間滯在した處でした。當時勝と名乘つて居りましたが、此の土地にくると「おかつさん」といふ聲が頻りに聞える。人に尋ねるとこれは俚俗の妻君の尊稱といふ事が解りました。宿から海上を見渡すと船が往來して居る、航海には楫が大切と思つて、回生した後半生の名に自ら撰んで楫と改名し、宿帳につけた事などを遙かな事に思ひ出しました。今回四五人の同行者と車を列ねて行くと、土地の子供等は物珍らしさうにこの行列を見守り「花おかつさんが來た」と申しました。聞けば私が白いベールを被つて居たので、花嫁と間違ひられたのでした。八十六歲にして花嫁と呼ばれたのも、亦一興ではございませんか。

∴

次に若松、門司を經て、吳に十時菊子女史の海軍々人ホームの擴張を應援し、廣島に行き、それから岡山、神戶を經、京都に立寄り、橫濱に用事を足して無事に歸京した次第でした。

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

いろ／＼の社會(十二)

國民の選良

夏の議會を見る

▲時々思ひ出したやうに大粒の雨がパラ／＼と落ちては傍からカッと照る三十日、日比谷の舞臺で不信任案の幕が上つた。第三十八議會で現內閣の非立憲と無經綸とを糺彈して解散に逢つた憲政會は、嘗つて轡を騈べて閥族の牙城に殺到した國民黨を失つて同勢僅かに百二十餘名、たとへ數の上では敗れても、理義は飽迄も正さなければならないとし、尾崎、武富などの諸領袖自ら進んで戰列に立ち、今日を晴れの善き戰ひを戰はんとしてゐる。その光景を見やうと傍聽人は朝から押し合ひへし合ひし、汗みどろになつた海老茶袴の小娘もその間に揉まれてゐた。金ピカのモールのやうなものをつけた受け付けの人も、額に汗を滲ませて手を動かしてゐた。大髻に結つた角力取も交つて悠然と狹い階段を上つて行く。午後一時三分過ぎに振鈴がガランガランと鳴ると、一度に議院內がざはめいた。

▲各議員はドヤ／＼と忙しく集つて自分の席につく。そして倒してある自分の名札を机の上に起す。正面の雛段の議長席に今議會の議長大岡氏が上ると會は初まつた。この時は既に傍聽席は好奇心に充ちたらしい人の顏で一杯に埋つてゐた。額だけ白いカーキ色の服を着た軍人も大分混つてゐる。其處だけ齒のぬけたやうに空席の多い婦人席には、それでも十五六人の女が靜かに扇子を動かしてゐた。寒暖計は八十九度を上つて、場內は人いきれでむし暑い。面から、脊から、うだるやうに汗が流れてゐた。大岡議長の幅廣い聲につゞいて立つたのは武富時敏氏であつた。日程を變更して不信任案を上議することを求められたのである。

『議長！』と、最初にさう呼ばれたその聲も、場所慣れない身には寒いやうに響いた。その提出に贊成の意を表する人あり、大岡議長も政府に異議なき旨を告げて此處に武富氏を壓かれた。この時まだ寺內首相以下閣員の出席はなくて、席は空いてゐた。と、氏は、

『本案は現內閣に不信任を表する議案なり、寺內首相等の出席なきは如何。』と詰られる。議場は何となく陰慘の氣に滿ちてゐた。首相等閣員は前後して着席する。その後の方にも二列になつて種々な人が立つたり腰かけたりしてゐる。芝居でも見てゐるやうな氣が一寸起る。

▲武富氏が壇上に上り、現內閣の輔弼の任に膺る能はざる理由を莊重無比な聲をふるはせての べられると、緊張した視線が氏の面上に集る。政府攻擊の言に及ぶと反對黨から、

『大隈はどうした。默れ、默れ、默らんか、』などの罵聲が起る。憲政會の方からは、之れに應じて、

『官選は默れ、』など〻喰つてかゝる。氏が自席につかれると國民黨の關直彥氏が反對者として登壇された。憲政會の席から

『犬養を出せ、犬養はどうしたんだな、』と言ふ。口を開かれると、再び野次る。

『あゝ關君は死せり。』とか、

『而して犬養君は國務大臣待遇か。』など〻言ふ。同氏が壇を下られると、尾崎行雄氏が割れるやうな拍手を浴びて登壇された。

『本員は不信任案に贊成意見を述べんとす。』と初められると、今まで大人しく扇子を動かしてゐた政友會席がざはめいて荒れ出した。喧々囂々、制止する所を知らないやうである。氏

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の雄辯も嵐のやうな妨害に時々聞えなくなる。議長がシロリと場内を白眼みつけて制止しても利目はない。唯募る許りであつた。議長漸くもてあまし、自席に起立して筒拔け聲を張上げ、

「議場の整理は單り議長の手のみにて行はるべきにあらず、諸君に於ても靜肅を保たるべし。」と言つて靜めた。尾崎氏は或る時は首相に、或る時は内相に、或る時は陸相に、外相に、其の鋭鋒を向け、二時間に渡つて手を槍のやうに指して疊みかけられるので、流石に首相以下青い顔を伏せられ勝ちであつた。それから後藤内相、維新會の坂本金彌氏、中立の押川方義氏、政友會の鵜澤總明氏、憲政會の島田三郎氏達が續々と壇上の人となられたが、之れが一國の選出代議士の集りかと驚かれるやうに机を叩き床を踏み、怒號喧囂たるものであつた。之れは日本の選ばれたる人の社會の僞らざる光景である。(I子)

讀者から

マッサージの効果

芝　大井笑子

前々號御揭載の藤井女醫の「胃腸によいマッサージ」は、大層有益な記事と存じました。實は私も同女醫に胃腸のマッサージ丈けを教へて頂いて居りました處、先日母校女子英學塾に參りますと、寄宿舍がざわめいて居ります。何事かと近寄りますと、胃が痛むと云つて轉々反側して居られる方がありました。私は未熟ながらも忘れて、藤井女醫に習つた通りに、腹部をマッサージして上げますと、奇蹟のやうに治りました。そして後から「おかげ樣で、さしもの痛みが夢のやうに消えて」と厚いお禮の言葉をいたゞきまして誠に嬉しうございました。御誌の讀者はあの記事を見て、實地にお試みになれば、必ず意外の効果を納めらるゝ事とぞんじます。

鈴蘭に添えて

函館　高松他行子

御存じでもございませうが、北海道の野原には――大抵場所は定まつてはゐますが――鈴蘭が六月の初めから中ばにかけて美しく可愛らしく、そして香ばしく咲きみだれます。リリーを摘みにゆくと申して、大人も子供もわざわざ汽車に乘つて樂しみにして出かけます。私が東京の女學校に居りました時に、私の一番に敬愛してゐた――今も懷しく思つてゐる――先生が、昔函館の五稜廓で澤山の純潔な魂を持つた美しい心を持つた武士が、崇高な思ひを胸に抱いて、淸く貴い血を流したので、其の靈が美しく可愛らしい、香りの高い、純白な花となつて咲き亂れるやうになつたのである。壇の浦で採れる見苦しい姿の平家蟹が、重なる恨を抱いて海に投じた平家の靈の化身であるのと面白い對象をなして居ると或る書物に見えたといふ事から、良いお勸めをされた事が、毎年毎年リリーを見る度に思ひ出されてなりません。それにつれて敬愛する先生の事、學生時代の事など、果しなく思ひ出され、家庭の中の忙しいうちにも若々しい氣分になります。少し今年は時候がおくれまして、都では隨分お暑いさうですから、定めし途中で可愛い花もむれて、いけなくなるでせうが、其の中から一本でもよいのを撰んで、お机の上にお置き下されば嬉しく思ひます。

五稜廓のあたりには、北海道で一番に見事なのがあります。

男女訓導の外國語學習

麴町　黒崎悦子

御誌每號御連載の如く、今秋は全國小學校女教員大會が催されるといふ氣運に向ひ、折から東京市では今回東京市泰明小學校を會場として、東京市教員修養會と云ふ名稱の下に、英、獨、佛語の、研究を基礎として、國民教育の刷新を計り、思想を豐富にせんとする企ての下に、一週に二回語學の泰斗向軍治先生が獻身的に熱誠あふるゝ御懇切なる教授をされて居られます。僅かに兩三名混じる女子の中に、幸ひにも加へていたゞき學習して居りますが、男女混合教育といふ事も經驗され、男子の方々から學ぶ點が多く見出されて、非常に練磨されるのです。男子の學習振りを見ますと、

第一、研究心の盛かんなこと
第二、質問の徹底的なること
第三、沈着なる學習振り
第四、相互に懇切に復習し合ふ事
第五、相互間に禮節をよく守る事

等、なほ澤山にあります。殊に第四、第五、に申した友人間の親密と禮節の正しさ、前日休んでも今日の課業に苦しまぬやう、御互ひに復習し學び合ひ、少しのへだゝりなく溫かに語り合ふ樣子は、狹量な女子に移したならば、たしかに女子の間にも團結が出來るであらうといつも他目ながら羨ましく感じてゐます。どうか職業の盛かんな今日男子の美點に習ひ、互に協力して能率を高め、交戰國婦人の萬分一にも當る働きが出來るやう、各方面に向つて、研究を進めてゆき度いと切に望みます。

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

自國の動亂に覺醒せる支那婦人

東京の留學生を訪ふ

□突如復辟の烽火揚がる

去る一日でありました。突如として北京電報は支那徐州の督軍張勳氏が復辟の烽火を揚げ、幼帝を擁立すると言ふやうなことを報じて來ました。久しく荒寥たる宮殿の奥に、味氣なき世を見守つてゐられた宣統帝の上に、再び花咲く春がめぐつて來るのかも知れません。袁氏が共和制を敷いて以來、殆ど動搖常なかりしかの如き感あるその國に生れた婦人達は、どんな眼を以て自國を眺めてゐることでせう。自費或は官費を以て、現に彼國から留學してゐる婦人は可成り澤山の數に上りますが、その中でも高等の學府に學んでゐる人達が十數人寄宿してゐる本郷千駄木町の中華女學塾へいつて様子をたづねました。恰どその前日から試驗がはじまつてゐたので留學生の誰れとも親しく會つてお話しをすることは出來ませんでしたが、朝夕監督の任にあたつてゐられる日本人の某女史はこんな事をお話しなさるのでした。

□號外に耳を聳つ

此處にゐる方達は進取の氣象に富んだ人で、中華國に於ける覺醒した、眞面目な新らしい婦人達でございます。みんな國民黨側の方ですが、それは熱烈な愛國者で、自國のことに就いては常に愼重に考へてゐられるやうです。近頃支那は殊に國家多事の秋でありますので、號外が出ると直ぐ何だらう、祖國のことぢやないかしら、とさう思つて買ふやうになつてゐます。あの日もそんな譯から擧兵の號外も早く見ましたが、どの人もどの人も、

「そんな事はあり得ない、また萬一、いま、そんな事をしたつて駄目だ。支那の革命は一朝一夕に出來上つたものぢやないんだから。民權自由の發達は、古くからの人の心に根ざして、その強い根から芽がふき出した所だもの、少々督軍が騷いだつて、それが果してどうならう。」と言つて、てんで問題にしないで、平日のとほり靜かに一生懸命に勉强してゐます。』と言つてゐられました。革命軍の一團は大抵一度は外國に留學した人で、思想の發達した時勢をよく看破しうる聰明な人達からなつてゐる故、どんな事が起るにしても時宜に適應した處置をとるだらう、と安心して落ちついてゐるらしいとも仰有つてゐました。そして女史は彼女等の日常生活に話を移されます。

□彼れ等は自由

『此處には湖南省、湖北省、廣東省、雲南省、廣西省、滿洲などの人が多く、少し革命軍に不評判なことがあると見てとると直ちに歸國の途に上るらしく見えます。滿洲の人などは淸朝の起つた地であるから、淸朝に意を傾けるかと思はれるのに、矢張他の人と共に遙か海を隔てゝ國民黨に應接してゐます。勉强などは實に日本婦人などの及びもつかない程どに熱中してゐると日本の事情にも明るくなるので、時々、君『どうして日本では女が教育を受けると世間の人が兎や角と八釜しく言ふのでせう。私の國では決してそんな事はありません。どんな人が、どんなに高い教育をうける爲めに學校へ行つたつても……。』と言つて、日本の高等教育反對者を不思議がつて見てゐます。そして自分達が何をしやうと極めて自由な境遇

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

に置かれてゐるのに反し、世間から手械足械をうけねばならぬ日本の女に對して、同情の眼を向けてゐます。ほんとに日本の女の方はお氣の毒だ、お氣の毒だつて。」

口制裁を守る許婚の男女

また支那の方は非常に我が强く、意志も鞏固なやうに思はれます。同時にそれは時に我がまゝともなつて現はれますが、なか／＼しつかりしたものでございます。寄宿舍の部屋割などは此方から誰れと誰れが何處へと定めやうものなら大變なことが起るから、各自に話し合はせて、隨意に決めさせて居ります。からすると平和で、まことに成績よく物事が運んで行きます。また各自の權利を尊重することは非常なもので、許しなくして室に這入る人があれば怒り、またその國の習慣上からか、髮を結んでゐる所へ這入つて行くと怒ります。そして交際は上手で、食卓の賑やかなことは西洋婦人に劣らず、時には無邪氣な戲談をして笑つてゐます、或る時などは、或る人の許婚人の手紙ににせて手紙をかき、食事中にそれを渡して笑つたりする。私と一所に此處にゐられる人はみんな許婚の人がありますので、日曜日と土曜日との午後が男の訪問日と決つてゐるから、會ひに來られますけれど、第三者なくしては決して會ひません。で私はよく立ち會ひに引き出されますが、實に許婚の二人の間は淸らかなもので、夕方暗くなる頃まで遊んで行くこともあるけれど決して間違ひの生ずる憂ひはありません。彼等は、

『變な噂さがあつてはもう人と交際が出來なくなります。』と言つてゐます。よく男の方が、自分の未來の愛妻に日光が見せたいから一所に行つて呉れなどゝ言はれることもある。その嚴格さなどは一寸西洋のそれに似てゐるやうに思はれます。女の方からは決して男を訪問しないやうです。そして彼女等は、私達が家庭を作る時には進んだ家庭を持ちます、と言つてゐる。つまり、從來の第一夫人、第二夫人、第三夫人と幾人もの妻を男に持たさず、愛に結ばれた一夫一婦の家庭を作ると言ふのでございます。卒業後は大抵故國に歸つて、婦人の爲めに大いに敎育を盛んにすると言つてゐます。』などゝ仰有るのでした。支那五千年の歷史を繰り擴げて見れば、可成り偉大な婦人があります。彼女等の心は、常に祖國の上に開いて、その國の發展に努力してゐるのでございます。留學生大會などの時に、支那大使に向つて堂々と尋問するのも、その度胸だけでも日本の女は及ばないかも知れません。

（玉子）

新刊紹介

口犧牲（久保田ふく子女史著）一篇の骨子は「人その友の爲に己の命を捐るは此より大なる愛はなし」又「主は我儕の爲に生を捐たまへり是に由て愛といふ事を知たり我儕また兄弟の爲に生を捐べし」といふ聖句である。犧牲の尊き生涯を、小說に綴りて知らしめんとしたもので、宗敎小說の乏しい我が國に、努力の見ゆるこの種の創作の出版されたのを喜びます。（金六十五錢 東京府下高田村字鶴山一五〇三完成社）

口斯論（七月號）全國十五大學聯合編輯の同誌は、廣く名流の間に材料を蒐集すると共に、新進青年の活氣ある氣焰、及び創作を掲げて居ります。殊に男女何れも讀んで興味ある內容は、編者の苦心のある所でせう。本號には後藤新平男、尾崎行雄氏、元田肇氏の論說及び臨時外交調查會に就ての名家の批判、處女敎育に及ぼす不良青年の影響に就ての意見に加へて、中谷德太郞、中村玉代、坪內士行氏等の小說を掲げてあります（一冊金二十錢牛込區矢來町十一、帝國聯合青年會）

口新女界（七月號）一百號記念號として、內容外觀共に一般の光彩を添えて居ります。大戰後に於ける婦人問題につき、智識階級の人々の說は、有益なものであります（一部金十二錢小石川區林町四三新人社）

口友愛婦人（復活號）曾て勞働及產業の兄妹雜誌として刊行され、哀れな工女の友となつて、之れを導き慰めて居りましたが、我が過勞する工女等は讀む慾さへ磨り減らされて、雜誌を手にする者尠なかりしより、一時餘儀なく中止して、「勞働と產業」の一隅を借りて合併發刊して居りました。然し今回復活の氣運に向ひ、體裁內容共に美はしく、獨立發刊されました。友愛會長鈴木文治氏の「ためになるおはなし」は平易な中に、よい敎訓を含んで居ります。其の他衛生家事の話も解り易く說かれてあり、小說、講談等の娛樂記事も澤山に乘つて居ります。工女を初め、女中等に見せるによい誌です（一冊十錢 芝區三田四國町一ノ二友愛會本部）

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

女の先生の印象（五）

生徒は所謂神田っ子

神田小學校の唱歌と體操

▲神田小學校で一年生の唱歌と體操とを見る。神田區の眞中で所謂神田っ子のみが集つてゐるから、女生徒ながら、なかく活潑である。一寸立つにも、頭の上に何かあるのを下から突き上げやうとでもしさうに見られる。不出來な生徒が交つてゐても、それは不出來ながらに行爲だけは人に劣らずさつぱりとしてゐた。九十一度を上つた日の午前十一時であつたから、體がけだるくだれ勝ちなのを、

『さアみなさん、姿勢は一と、先生が一口仰有ると、子供達は驚いたやうな眼をパチクリさせて居ずまゐを正す。見てゐるとほんとに可愛く、いぢらしい感じがした。先生は姿勢のことを平常から大層氣になさる方らしかつた。

▲唱歌は國定のものばかり敎へると小さい時から他の子供が歌ふのを聞きかぢりに大抵覺えてゐるので、面白くないと言つて、他から面白さうなものを選んで敎へてゐられた。聞きかぢりに知つてゐるものばかりでは、生徒の興味を引くのが困難なのだらう。生徒を飽かせまいとするには、先生となつても苦しさうである。私が行つた時はもう授業は初まつてゐて、頻りに生徒は歌つてゐた。初め全體で、次ぎには一列づゝで……。

電信線に三四羽の
燕がとまつてチヒチヒチヒ
何の話かチヒチヒチヒ

見てゐる内に飛び出した
急行列車か、飛行機か
古巣の上に一目散

題は『燕』と言ふのである。燕と言ふ鳥を見たこともない子供には止むなく、繪などを示して何んな鳥なのか、鳥からして先きに敎へられねばならないさうな。斯うした自然界のものに對して、田舍の先生の思ひ及ばない苦心があるらしい。初めオルガンに合はせて一句一句を敎へそしてその一章をまとめて歌はせられるのである。節まはしが巧にいかないと、

『そら、其處は強く、今度は聲を大きく張り上げて。』などゝ言つて、先生はオルガンの手を休めて、手をたゝいたりなどして調子をとられる。

『あゝ、今のはよく出來ましたよ。次ぎの列の人はもつと上手に歌ひませう。さあ初めた。

『電信線に三四羽の…………』と自分から、面白くてたまらないやうな容子を裝つて、歌ひ出される。眠さうに眼をパチクリさせてゐた生徒も、何時かついて歌ふ。

▲『燕』の歌を歌ひあきると前に敎つた歌の復習になつた。『ひよこ』と言ふ唱歌であつた。先生は、『皆さん、ひよこのやうにふざけてはいけませんよ。眞面目に歌ふんです。』と言つて、オルガンをならされる。オルガンを一節ひかれると、生徒はついて歌ひ出した。

ひよこ、ひよこ、ピヨピヨ泣いて、
親の廻りで喜びながら
餌をひらう、餌をひらう。
ひよこ、ひよこ、ひよこが一羽、
垣根の外に迷ひ子になつて、
ピーヨ、ピーヨ、ピーヨ、ピーヨ。

夫れを歌ひ終るとアスフワルトの運動場へ出て、男の子と一所に體操をするのであつた。女の先生は樂器をならし、男の先生が體操を敎へられる。『鳩ポツポ』『牛若丸』などをしてゐたが、男の子より、女の子の方が動作は敏捷で活潑であつた。（民子）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

低級勤め人を夫に持つた婦人の苦境

斬雲

□生活難と禮節

衣食足つて禮節を知ると言ひますが、今日衣食猶ほ足らざる苦境に在りながら、餘計に禮節を要求さるゝ者は低級の勤め人です。今の勤め人といふのは、昔の武士の格で、智識あり教育ある階級と見なされて居ます。何處へ行つても、又は何か拙い事を仕出來した場合にも「教育を受けた智識階級の人間でありながら云々」とやりこめられます。成る程智識の持合せはあるが、哀しいかな、衣食の持合せが有りません。舊幕時代なら未だしもですが、大正の今日では、衣食の持合がない處へ人一倍の禮節を强迫さるゝ辛さは大したものです、況んや此種の人間を夫に持つた婦人の苦痛は一層甚だしからうと、誠に同情に堪へません。

□所謂奥樣の苦境

今日十圓以下の貸家住居する勤人の生活は、凡ての生活の中で、一番辛い生活だらうと思ひます、即ち月給二十五圓から三四十圓程度の生活です。そして之が妻たる婦人は、所謂奥樣と呼ばれるのです。日本の現狀では、苟くも奥樣と呼ばるゝ女は、夫婦共稼ぎ生活をする事を、世間は非難します。一例を擧ぐれば、寄席へ出る女を妻に有つた勤め人は、仲間から排斥され上役から嫌はれて遂に職を辭して了つた話もあります。役所でも「誰れ某れの妻は、店を出して居る」とでも噂されると、當人は面目を失して仲間に顔向けがならぬ事に考へるし、世間も然ういふ事に考へるのです。

□收入と比例せぬ體面

だが當節、三十圓内外の月給で生き甲斐の有る生活が送れませうか、禮節を守る生活が出來ませうか、勤め人の收入は、今より七八年も以前の生活を標準に取極められた官制から割出された月給なのです、物價が四五割も騰貴したに拘らず、月給は一文も上げられません、市場の物價と比例を保たぬ收入に依つて衣食する者は今日の勤め人です。こんな不合理な生活法が又と有りませうか、大凡そ人間の生活は其の收入に相當して居ます、勞働者は粗服で通用します、月給取りばかりは、ピンからキリ迄、略ぼ同じ服裝をしなければなりません。之が官僚主義の弊害といふもので、上流と下流から押されて行き處のない慘めな生活です。此頃新聞紙に掲載された某課長かの談に依れば、巡査や小學教師の生活は、何にも困らない生活ださうです、なる程、世間にはモッと、少ない收入で生活する細民が多いでせう、併し、世間から途方もなく買ひ被ぶられて苦しい思をする事の點からいふと、巡査や小學教師程困つて居る生活はないのです。又是と似寄つた程度の低級官吏の生活も全く困つた生活です。

□當人の解決すべき問題

此場合、私は斯種勤め人の背後に居る其の妻たる婦人の、世間體に束縛された生活を思ふと實に氣の毒に堪へません。今日中流の下位に居る勤め人の間に夫婦共稼ぎ主義を斷行するの風習を作る事は忽諸に付しがたい重大問題なのです。社會政策上の大問題だらうと思ひます。當今の學者は、西洋では彼れ是れと、西洋の事ばかり言つて居ます、あれは腐儒といふもので、有害無益の議論です。低級勤め人の細君問題は其の細君自ら之を解決すべきものです。

十一

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

氣に入った避暑地

夏中の簡易生活

淺田みか子

□房州の北條

私は毎年の避暑旅行に鎌倉、大磯、湯ヶ原、鹽原と云ふやうに、隨分方々を歩き廻つて見ましたが、年々此處ならば來て見たいと思つた處はありませんでした。然し房州の北條だけは、今迄の中で一番氣に入つた避暑地だと思つて居ります。こゝは年毎に避暑客が殖えますが、なほ學生が其の主なもので、其の他は官吏、教師や中流の堅實な思想をもつた家庭の人達が、一家族を引き連れて一と夏の納涼を、恣にすると云ふのです。土地の百姓も昔ながらの質朴で眞面目で、決して無暴の金錢をとる事がありません故、物價は安く、避暑地としての第一要件たる海は、靜かで奇麗で、眺望もあり、海岸を跣足で歩いても足を傷める心配もなく、最も避暑地に適した處であると思ひます。

□海陸から行ける

七月二十日頃より專用客船が靈岸島から出ますゆへ、朝風さへなければ、六時に此の船に乘り込みますと、四時間半で北條に着きます、船賃は上等が一圓五十錢、普通は七十五錢です。船が嫌ひならば兩國から汽車で加知山迄で行き、それから四五里の間を自動車で參ゐります。然し旅費は船の倍額程かゝります。景色は船の方が汽車よりも餘程勝つて居ります。

□簡易な生活振り

北條は他の處と異つて携帶品は布團、毛布、蚊帳、それに人數に應じた茶碗位ゐを少し用意すれば、あとは家主が臺所道具はすつかり家につけて貸して吳れますから、何にもこちらから持つて行く必要はありません。一軒の家を貸すよりは、間貸しの方が多うございますが、家賃は概ね疊一疊に就て五十錢から一圓以内です。魚は女の賣りに來るのを買つても、海岸へ出て地引して居るのを買つても東京の半額です。野菜は館山の市に持つて行くのを買ひます。それに果物の安いのと新らしいのとは子供などの一番喜ぶ所です。旅費と屋賃を出しても東京に住むよりは餘程安く上ります。唯時に軍艦の來る時だけは品物を軍艦に買ひ上げられますから、物價が上つて、鷄卵などは町中探してもない時もありますが、又直ちに復舊いたします。

□海に入る注意

餘り耳新らしい事でもございますまいが、海に入る時の注意に就て思ひ付きました二三をお

化粧問答

問 だん〳〵暑くなつて來ますさ、外へ出た時汗や埃の爲めに、化粧くづれがして困ります。白粉も薄目につけたのは、剝げた時そんなでもありませんが、濃化粧の崩れた程、みつさもないものは御座いません。夏は薄化粧に限ると存じますが、記者樣の御意見は如何でせうか。

（大阪府下　一愛讀婦人）

答 全くお說の通りです。夏は概して薄化粧の方が、見た目にも凉しさうで、至極結構です。尤も化粧崩れのしないやうにするには、初めから地肌を調へておけば宜敷いのでそれには先づ夜寢る時に、クラブ美身クリームを顏から頸筋に擦込むで、そつとタオルで拭き取つておき、翌朝すつかりとクラブ洗粉で洗落し、クラブ化粧水をすつかりと塗り込んで、生地を調へるのです。それからクラブ白粉でもクラブ美の素白粉でも、斑なく附けて延ばし、水刷毛で其上を洗ひ去り、そしてお顏色

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

話しますと、物を食べたてに海に入るのは最も悪いやうです。朝は九時から十時迄、午後は二時から三時頃迄の間、十分乃至十五分間位ひ宛海に入るのがいゝやうです。初めの中は耳に水が這入り易いものですから綿をつめて置く事が肝要です。子供などは殊更ら熱のある時、腸胃を痛めて居る時は悪く、又おしるこを食べさせた時に海に入ると必度下痢を起すやうです。朝飯前に一度這入ると非常に食事がすゝんで具合がよろしうございます。

冷たい飲物

道具なしで作る法

櫻井ちか子

□**アイスティー** 普通の煎茶を入れるやうにして、紅茶を入れ、一合に就て茶匙一杯の砂糖と少量のポンスを加へて冷します。又器具の都合で紅茶は出來る丈け濃く出して置いて、用ふる度に別に作つた沸し冷しで薄めてもよろしい。此の中へレモン(手軽るにするには夏蜜柑)を皮ごと薄く切つて入れると一層味がよくなります。お茶は人によつて日本の茶の方を好む方もありますから、どちらでもいゝと思ひます。

□**稀鹽酸入沸し冷し** 極く冷めたく冷やした沸し冷しの中に砂糖と極めて少量の稀鹽酸を落しますと、飲んで清すが々しさを覚えるばかりでなく、暑気拂ひにもなります。

□**アイスクリーム** 機械があつて作るのはそんなに骨の折れる事でもありませんが、田舎等へ行つた時機械なしで一寸作る事が出來たら大變便利であると思ひます。其の最も簡單な仕方に、鶏卵二つ、牛乳二合、氷五百目、砂糖大匙二杯の材料を以つて、先づ第一に鶏卵を割つて黄身と白身をよく混え、牛乳大匙一杯を加へて充分に攪きまして置きます。別に残りの牛乳に砂糖を交ぜ一度沸たて、先きの鶏卵を攪き廻しながら牛乳を注ぎ入れます。そして再び鍋にかへして焦さないやうに匙か杓子で攪きまぜながら少し煮ます。どろりとなつて、材料が少し匙に付き加減になつたらば、直ぐに下して攪き廻しながら冷し、これを半斤入の茶筒に入れ、暫らく水につけて冷やします。次に小桶にかいた氷に鹽を交ぜ、茶筒をこの中に入れてぐる／＼廻し、約五分ばかり致しましたらば、一度筒を開けて、周囲に凍り付いたアイスクリームを小刀で落してまた氷の中で廻します。斯うして繰り返しながら三四十分間冷やしますとかなりのアイスクリームが出來ます。三四人前は充分にあります。茶筒は鐵葉の薄い丈がよく、塗りの筒はどうしても旨く固らないやうです。甘美くしたい爲めに無暗に砂糖を入れると何時迄もかたまりません。

□**廢物利用の飲物** 來客の際なぞの澤山の果物の皮で、左の如き甘美しい飲みものが作れます。清潔に剝いた林檎の皮や芯があります時には、水一升に砂糖一斤の割に加へて、砂糖の溶ける迄煮ます。この中に林檎の芯や皮を入れて置けば甘美しい汁が出來ます。これを氷に下して飲みますと、餘り長く置くと酢になりますが、此の酢も亦妙味のいゝものです。又天津桃の皮を水煮して、一度漉し其の汁へ一升につき一斤の砂糖を加へて更に沸立てゝ冷やして置きます。矢張り氷か沸し冷しに落して飲みます。一度沸立れゞ三四日は保ちますから、皮や芯があつた時に一寸作つて置くと便利です。

の好くない方ならば、クラブ頬紅をうつすりと刷て、又脂肪質の方ならば、鼻の上や口の側へ、クラブはき白粉をうつすりと刷いておきますと、滅多に剝げるやうな事は有りません。假令剝げるにしても決して斑にはなりません。汗の出た時には、クラブ打粉白粉をはたくと、手早くお化粧直しが出來るのです。

問 これからだん／＼と流行病が多くなつて参ります、豫防に關する第一の注意は何で御座いませうか、詳しい樣の御說を伺ひたいと存じます。(兵庫縣 たつ子)

答 病菌は多く口から入るものです、夏の衛生は口を以て第一としなければなりません、殺菌の効力の著しいクラブ歯磨を、朝夕二回は必ず使用せられ、其上に食後にはクラブ水歯磨でよく含嗽をして、常に口中の清潔を保たるゝことが必要です。—廣告—

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

自然兒（七）

知らない家（下）

琴子

　デビットは夜中、固い寝床に寝てゐましたので、體の痛いので目がさめました。

「あ……僕こんな處に寝たの！父さん」。

　デビッドは、目をこすりながら起き上りました。

「父さん！こゝは……」

と言ひかけてヒヨッと氣がつきました。

　急いで、窓のそばに行きました。もう東の方の木の間から太陽が照つて居ました。庭の向ふの小屋の戸はあいて、人が出たり入つたりして居ます。

　デビッドは昨晩の事をすつかり思ひ出しました。

　それで、大急ぎで着物を着替へて小屋の方へ出て行きました。

　父さんの寝て居た處へ行きましたが、見えません。そこに人が居ましたので。

「おぢさん、父さんどこ？ね？どうしたの？」

　男は氣の毒さうな顔をして

「あ……お前がさうなのか」

「エ、僕、デビッドだよ。父さんどこ？おぢさん知らないんだな！昨晩の御ぢさんどこに居るの？」

　すると、臺所の入口にハアレーが立つて居るのが見えました。

「あ、あそこだ！」と言つて飛んで行きました。

　デビッドがいろいろ尋ねますけれども、ハアレーはおかみさんや前の男とばかり話をしてデビッドの言ふ事をチッともきいてくれませんでした。

　その内ごはんだと言つて、三人は家へは入りました。デビッドは食べたくないと言つて斷りました。そして入口に腰掛けて考へて居ました。

　デビッドには、父さんの死んだ事がよく解りませんでしたが知らないおぢさん達の言ふ事を聞いて、もう、父さんは歸つて來ないし、又話しも出來なくなつたのだと言ふ事が解つて來ました。

　ダビッドは淋しくなつて來ました、こんな知らない家よりも山の家の方がよつぽど、友達が多くてよいと思ひ出しました。

山には、栗鼠もゐます、川も木もあります、銀の池もあります。又若しか、父さんが歸つて來るやうな事があれば、きつとあそこに歸るにちがひない、自分が居ないとこまるだらう。さう思ふと、どうしても歸りたくて仕方がありません。

　デビッドはヴァイオリンを抱えたまゝ、そうつと外へ出ました。そして山の方へ行く道を夢中で歩るいて行きました。

稲妻

安中花子

野を行けど大路を行けど日の本は君住まぬ國寂しらの國。
あか〳〵と今沈み行く日輪よ我が此の戀も斯くて消ゆらし。
數多く行き交ひ人のありし日に面影一つ殘れるが憂さ。
稲妻のひらめきに似し束の間を我人にして只管に生く。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

小説

雜草（八）

茅野雅子

お久の上には眞黒な日が幾日も續いてゐた。霙交りに降る雨の細かにかゝる櫺子窓を眺め乍ら、押込められたやうな重苦しい心持を募らせることも少くはなかつた。健次の反對したのにも係らず三好さんの畫室の方も引拂らつて了つた。何時とはなしに其方へ運んであつた物を書きかけの畫など〳〵一所に自家へ運ばせて了つて、扨て改めて長い間厄介になつた禮を述べた時には、さすがに淚さへ零れた。

『せめて七人會の方のお作丈けでも仕上げてからになさるといゝのに。』

三好さんは繰返し左樣云つたものゝ、お久の決心はそれが爲に動きはしなかつた。三月半ば、遲くも四月の始めには開き度いと思つてゐた七人會のこと等は最うお久の心には遠くなつてゐた。戰爭迄歐羅巴にゐた洋畫家二人と若い日本畫家三人にお久達二人を加へて、都合七人の者が、兎に角新味のある運動を起して見たいとの考へから、畫塾の勢力の激しい京都で斯んな會を起さうと計畫した當初のやうな熱情は今のお久の心には燃えてゐなかつた。自分の心の中にある或物を表現したいと思ふ力强い願ひよりは、最つと卑近で實際的な問題がお久の心を確りと摑むで了つた『何うしたらいゝのだらう。』お久はそれ許りを考へて暗い日を送り迎へた、時〻思ひ出したやうに畫筆を執つて布に向つて見ても、ものゝ三十分も經たないうちに最う根氣が盡きて了つた。今迄自分乍らよいと思つてゐたやうな處も、今になつて見ると少しの感興も無かつた。思切つてビリ〳〵に引裂かうかと思つたことも一度や二度ではなかつた。そんな時などには心から姑を憎む心が湧上つて來た。自分は何故此一人のために斯く迄に苦しまなくてはならないのだ。何故此人に對する愛情の不足を罪のやうに感じなくてはならないのだ。一體嫁とか姑とかいふ關係は本當に偶然的のものに過ぎない。それのために自分の心の全體を動搖させてはならないではないか。そんなに考へ乍らそれが今お久の運命にならうとしてゐる。お久はその運命を烈しく憎むだ。そしてその憎惡が長く續けばよいと思つた。愛し得ない苦しさよりは憎む心の方が明快でもあり單純でもあつた。併し左樣思ふ端から世にも孤獨なこの老人を憐みいたはる心と、昔から支配してゐる舊道修の思想がお久の胸を押してゐた。それだけに彼女の苦しみは漸々大きくなつた。

お久は自分のさうした苦痛を訴へにゆく所が無かつた。唯々一人自分の味方として賴むでゐた健次にさへ此問題に就ては深く話すことが出來なかつた。左樣したことから二人の間に溝渠を築いてゆくやうなことがあつてはならない。

『自分の淚は自分の手で拭ふより外はない』

お久は健氣にもそんな言葉を思ひ乍ら、思ひせまつては尙靜として居られなかつた。

正月以後一層忙がしくなつたらしい大阪の方の仕事のため、健次が外泊して歸らない晩も頻繁になつた。底冷えと云つて他の地方では知られないやうな陰性な夜寒が貧血のお久を眠らさせなかつた。千鳥の聲に時々梟の聲などの交るのをきゝ乍ら姑のこと自分のこと夫のことゝ次ぎ〳〵に思ひ廻すと、誰一人と

十五

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

して氣の毒でないものは無かつた。忙しい仕事に疲れ切つて歸つて來る健次が、お民からも時にはお久からも面白くない話をきかなければならないのも可なり辛らいに違ひなかつた、彼は父を亡くしてから出來るだけのことをしてやらうと思つてゐる母と、親戚や友人の反對を斥けて娶つたお久との間に立つてゐた。お久はそのことも考へた。併し男には仕事をする力がある寂しい姑にも健次の愛があり、お久の理解と同情とがある。それに自分には――自分には何があるだらう。夫の愛も屆かず、姑の理解も同情も出來ない境に自分は苦しむでゐる。再び眼ざめて來た製作の力さへ其ために委靡して行かうとしてゐるでは無いか。お久には矢張自分が一番可哀想なものに思はれた。冷たい涙が頰を傳つて枕に流れた。

それは丁度三月の始めのことでそれ迄の寒さに引き更へて、一時に春が來たやうに暖かい夜であつた。其處に立ち並んでゐる柳の芽が今にも青く吹出しさうに思へる程な氣候で、河の面も何となく水蒸氣に潤つてゐるやうに見えた。

『ほんたうに暖かい日だすい。』

お民は國訛りの言葉で幾度も繰返した。野も山も未だ眞白で湖水の氷も溶けまいと思はれる故郷の樣が老人の心にあつた。

其時佩劍の音をがちやがちやいはせ乍ら一人の巡査が二人の側を驅拔けた。手には赤筋の入つた提灯を持つてゐた。三四人の男が續いて走つた。

『まあ何でせう。』

『ほんたうに厭だすい。』

驚いた二人から遠くない河端の木陰に十人近くの人が立つてゐた。今驅付けた巡査は嚴めしい提灯を、地上に黒く横つてゐる塊にさしつけた。髮の毛らしいものが眞黒くへばりついてゐる蒼い顏が、立止つた二人の眼に映つた。

『美人やな。』

斯う云つた巡査の聲が、そこに立つて居た人々の緊張した沈獸を破つた。くす〳〵と二三人の笑聲も交つた。それが泣くよりも寂しくお久の耳に響いた。水死人。お久はぞつとした。

十六

見合失敗物語（其一）
名聲と反比例の風采

近藤浩一路

H君は年は若いが其名聲は已に世上に喧傳されて彼れの名を知らぬものは殆んごない位であつた。其H君がいよ〳〵嫁を迎へやうと名乘を上げるさ、其名聲を聞いて嫁の候補者は八方から降ろやうに集まつて來た。H君は此處に至つて其選擇に苦しんだ。さころがごうしたものか其風采の貧弱さは其名さ殆んご反比例して全く見ろも氣の毒なほごであつた。其爲かごうかは疑問であるが、いよ〳〵見合さなろさごれもこれも皆向ふから逃げて行つてしまつた。Hの落膽失望は前の得意に比べて益々烈しくなり、アア悲觀しちやつた〳〵さ友人の處へ訴へに來る、其恰好は父特に貧弱に見えて友人達も彼れを慰める言葉を見出さなかつた。實際其訴へ顏さいつたら到底名聲のあるHさはごうしても思はれなかつな。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

時事

口兩陛下桃山御參陵　來る七月卅日は明治天皇の五周年に當らせらるゝより伏見桃山御陵に於て御式年祭を行はせらるゝに付、天皇陛下には皇后陛下御同列、御親祭を行はせらるべしと承はります。當日は同時刻宮中皇靈殿に於ては九條掌典長御式年祭を執り行はれます。

口東宮見學御旅行　皇太子殿下には、地歴御見學の爲め、山陰地方の行啓を仰出された事は既報の通りですが、愈々三日午前十時十分御出門、供奉員を随へ同十時四十分東京驛發臨時汽車にて御西下あらせられました。

口李王昌徳宮に入らせらる　李王殿下には長途の御旅行に御恙もなく、去る廿八日夕御機嫌美はしく御歸鮮久方振りにて京城昌徳宮に入られました。殿下には皇室の御優遇に對して殊の外感激遊ばされましたが、殊に今度の御旅行にて最も感興を惹かせ給ひしは宮島の風光で、御憧憬殊の外深き由傳へられます。

口恩賜の鶴　長き逗留にては、松方老侯が老齢なるにも拘らず内大臣の重職にあつて、最後の御奉公を申上ぐる誠忠を嘉せられ、去る廿七日丹頂の鶴一羽を御下賜あらせられました。この鶴は卅年來新宿御苑に飼育せられた名鶴「老松」の子で、五六年前御苑内の動物園で孵化したるものにて、陛下が鶴の如く長壽を保てよとの有難き思召にて、國家の老臣を労はらせ給ふ大御心のほど誠に畏き次第に存じます。

◉張勲の清帝擁立　先般來徐世昌氏等と稍々意志の疏通を缺きし張勳氏は、一日突然復辟を斷行し、こゝに支那の政局は一大逆轉を見るに至りました。張氏は袁氏が天下を握つた時代から復辟の考へはありましたが、眞に清朝に對する誠忠からであるかどうかは暫く措いて、其の運動は着々効を奏するに至りました。即ち宣統幼帝は直ちに上諭を發して全國に通電し、光緒帝の遺志に依つて立憲君主政體を樹て、萬機公論に決し、國會を召集す。然し皇族を政治に參與せしめず、各國條約の繼續有効、政治犯赦免等十箇條の宣誓をされました。一方張勳は黎大總統に退位を迫り、中央には既に新政府を組織して、各大臣の任命を終つたと傳へられます。今回擁立された宣統皇帝は、御年十三歳の幼帝ではあるが、非凡の才能を有せらるゝ方であると申します。殆ど紫禁城外に出でられた事はなく、忠臣世續氏が側に奉仕して餘念なき勉學を續けられて居られました。

支那の政變に就ては我國は目下傍觀的の態度をとつて居りますが、萬一の場合北京附近に居住する我同胞の生命財産を保護する爲に、一日天津から駐屯軍の一部が北京に急行しました。

◉英佛へ五萬の苦力　近來支那山東地方の稀に見る凶作は、益々多くの苦力を英佛に輸出するやうになり、既に五萬人以上は彼の地に入り込んだ様子です。然し戰線には決して出さない約束で、給料は月三十弗、内二十弗は本人に送りの十弗は郷里に送ると云ふ極めて堅實な方法です。

◉行き惱みし愛國婦人の副會長　去る廿二日の理事會で互選の結果決定したる濱尾男夫人の會長、小笠原伯夫人の副會長を廿三日公式を以つて兩夫人の承諾を求めました處、濱尾夫人には何の異議もありませんでしたが、小笠原夫人は特志看護婦人會の副會長でもあり、かたがた其の重任に堪へずとて辭退されました。此處に於て再び廿七日臨時理事會を開き、龜井伯夫人久子の方を公式に推薦する事に内定しましたが、又模樣替へとなり當分副會長は缺員のまゝで、濱尾新會長のみで會務を處理する事となりました。

◉東京府の不良少女收容依頼　社會が複雜になるにつれて、不良少年少女の釀出も自と増加して來ました。東京市では不良少年を收容し感化する所はありますが、不良少女の處置に就ては經費其の他の關係上何等の方法も講じて居りませんでしたが、愈去る二十八日矢島楫子女史を府會に招き、矯風會が專ら彼等の救濟保護に盡されん事を申込み、矢島會頭はお受けして退出しました。これが實現の曉は同會は三十人位收容の出來る家を借り、温かな愛の力に依つて彼等を感化しやうと勉めて居られます。

◉外相母堂の葬儀　本野外相母堂總子刀自の葬儀は廿七日午後一時から、青山齋場に於て行はれ、菩提寺なる麻布長谷寺の住職大賢戒定師が導師を勤めました。會葬するもの三千に餘り、佛前には、宮家、大臣以下の名家から送られた紅白の菊花が處狹き迄に並へられました。刀自が生前此上なき樂しみとして培養したるは此の花でありました。

◉矢島女史歸る　矯風事業の爲め九州諸國を旅行中であつた、矢島楫子女史は廿七日卅二日目で大阪支部長林歌子女史を伴つて歸京されました。女史等は長の旅行の疲勞も見せず、直ちに報告會を本部に開き、其の際林支部長は長らく行き惱んで解決のつかない飛田遊廓問題には、其の上の方法としては、自分達の命を以つて百萬圓の金を拵へ買ひ取つて終ふより外に方法がないと固い決心の色を見せられました。

◉久野女史辭任　東京音樂學校教授杉浦千歌子女史は、今度一家の都合上辭任されましたので、其後任として當代女流ピアニストの曉星と仰がるゝ同校助教授久野久子女史が任命さるゝとの事です。辭令は近々發表されませう。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

●少年少女の御前揮毫　山階宮藤麿王殿下には三十日上野竹の臺で開催中の大日本選書展覽會へ成らせられ、左の兒童の御前揮毫を御覽遊ばされました。
『鴻恩崇高』名古屋市　石黒政行(十二)
『成一厥德』埼玉縣　柳田武夫(十)
『清　和』青森市　吉田さだ子(八)
『鍊性松心』東京市　山越政久(十)
他東京市の柳田くら子(十五)等でした。

●支那に行かれる鈴木刀自　關西實業界の女王として名高い鈴木米子刀自は常に帷幄の中にあつて商略を司り、着々効果を收め、今では女の細腕に一千五百萬圓の大身代を握つて動かさぬ女丈夫であります。今度六十七歳の老軀を提げて支那内地の大旅行を決行する事となつたのは、勿論刀自の旅行に就ての興味からでもありませうが、大に支那内地に投資して、將來の利權を獲得しやうと云ふ大抱負も與つて力あるものであります。旅行日程は約一ヶ月で上海から洞庭湖の風光を探り南京漢口、北京、天津を經て朝鮮に出づる豫定の由です。

●合格した女藥劑師　去月七日より廿七日まで東京で施行された本年第一回藥劑師實地試驗の及第者七十名中婦人は赤坂新町二の十小原方齋藤エイ(二二)麻布櫻田町一七金子方崎野しげ(二七)の二名で、共に麹町明治藥學校の出身であります。

●看護婦七十名の解職　東京帝國大學附屬病院では、去る二十七日百三十二名の看護婦修了者を出しました處、七十名は二年の義務年限なる患者附添ひを不服として、職務に就きませんでした爲め、遂に解職處分を受けました。これは從來は三ヶ年の義務年限で病室勤務と患者附き添ひとを交代にさせて居りましたが、本年四月規則の改正と共に年限を縮め、交代なしで各專門の勤務となりました。然し患者附添ひは病室勤務よりも面倒が多いので、一般に之を厭やがり從前通り交代勤務を要求し、大學側ではこれを容れる事が出來ないのでこの事件をかもした次第であります。けれども教授方の仲裁で近く和解が見られやうと思ひます。

●露國觀光團來る　露國ハバロスク市の男女學生十七名の一行が團長マルセリス併侶及びウオスクレセシスキーの兩氏に率ゐられて京都奈良の觀光を終へて二日入京致しました。一行の中にはモスコー大學出身のプハフユース孃と云ふ本年廿一歳の有爲令孃を初めとしてハバロスク大學出身のポポーヴスカヤ孃、ペトログラード大學出のシヤブロク夫人等、新らしい婦人を以つて自ら任ずる人達も澤山加はつて居ります。

●我が軍隊の日本アルプス踏破　日本アルプスの白馬山は、七月に入つた昨今尚ほ雪の爲め登山が出來ない由ですが、本年既に登山決行を企てゝ居るものは、第一高等學校生徒卅名の、七月十三日頂上着を魁として、松本歩兵第五十聯隊中の、混成一個大隊が七月十日發、一萬尺の高地乘鞍ヶ嶽、槍ヶ嶽を踏破する計畫であります。これは我が陸軍に於ける初めての試である由です。尚ほ昨年槍ヶ嶽に御登山ありし東久邇宮殿下には、本年も八月下旬に白馬山を御踏破遊ばさる御豫定なりと承ります。

●埼玉群馬の大降雹　二十九日午後四時四十五分頃、埼玉縣下熊谷町を初め附近に大雷雨があり、雹さへ加つて、同五十分頃から十五分間に亘り、鷄卵大の雹が降りました爲めに家屋の被害も甚大ですが、重輕傷者さへ出し稀有の椿事でありました。

個人消息

▲平松刀自逝去　昭憲皇太后陛下に久しく奉仕せし平松掌侍は京都に退官後、日夜信佛の念厚く、明治天皇、昭憲皇太后兩陛下の御陵には、日夜參拜するを樂みとして居られしが此程假初の病氣のため遂に逝去され、廿九日舊同僚たりし高倉前典侍並に村井吉兵衛氏夫人藤子(前日野西掌侍)其他に片身別なされたさうです。

▲廣岡淺子　一日上京九日頃より御殿場に避暑、八月中醫師を招きて基督教を研究さるゝ由。

▲三角錫子　七月下旬より九州地方旅行の筈。

編輯室より

▲八寸位の人形のビール箱のやうな小包が、函館の讀者高松他行さまから屆きました。急いで開いて見ますと、中から妙なる薫りと共に、鈴蘭の花束が、色もあせずに現はれて參りました。▲北海道の曠原と美しい人の情とを忍びつゝ机上の花瓶に移して同人一同賞で合ひました。此の日此處を訪づれた十二人の友に、望むが儘に幾莖かを頒ちました處、何れも喜びに滿ちて歸られました。

人事相談所

□本所は婦人週報社の附屬事業として、世の煩悶に惱める男女に同情し、精神上、生活上、其他有ゆる相談に應じ、最も善き解決を與へます。

□本所は絶對秘密の下に、結婚調査、人物調査、財産調査、男女學生品行調査、裁判上の證據調査等の御依頼に應じ、親切と誠實を以て其の任に當ります。但しこれは依頼者が至當と思はれる程の低廉な調査料を申受けます。

□本所に御相談なされたい方は、書面にて申越されるか、若しくは直接面會に來て下さい、面會時間は日曜水曜を除くの外午後零時より、午後四時迄です。

東京牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地
婦人週報社内(電話番町四五六六番)

人事相談所

婦人週報
(毎週金曜發行)

定價表
△壹部金五錢(但し郵送料五厘を含む)
△一ヶ月(四部又は五部)金二十錢
△三ヶ月(十三部)金六拾錢
△半年(廿六部)金壹圓拾錢
△一年金貳圓廿錢

廣告料
△特等(表紙の二、四)金參拾圓
△壹等(表紙の三、白紙前付)金廿五圓
△貳等(色紙の表側)金廿貳圓
△參等(色紙の内側)金貳拾圓

注意
▲御註文は一切前金の事▲郵券代用は必ず一割増の事▲送金の爲替名宛は東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地婦人週報社▲振替口座は東京三一六六〇番▲雜誌發送を以て領收書に代ふ

編輯兼印刷人　小橋三四子
東京市京橋區銀座四丁目一番地
印刷所　福音印刷株式會社
東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地
發行所　婦人週報社
振替口座東京三一六六〇番
電話番町四五六六番

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御註文の節は婦人週報にて見たる旨御記入を乞ふ

診察毎朝及毎夕但祭日及日曜之他
院長診察 月、金、木午前及（木）午後六時
林、峰間兩副長は目下當院に在勤

東京三番町三十番地（市ヶ谷見附內）
電話番町 六二番

東洋內科醫院

院長 醫學博士 高田畊安

南湖院

電話ちがさき二番
神奈川縣茅ヶ崎海濱（從停車場半里）
河野、高橋兩副長は目下當院に在勤
院長診察 土曜日 午後入院診後應需
診察毎朝但祭日及日曜及土曜之他

大黒天印 赤 白

宮崎葡萄液

宮崎葡萄液ハ「アルコール」分ヲ含マズ最モ滋養ニ富ミ上戸ニヨク下戸ニモヨシ御婦人御子供衆ニモヨク頗ルオモシロキ理想的好飲料

大小數種化粧箱
商品切手調進仕候

東京市日本橋區通旅籠町
宮內省御用達 發賣元 甲斐產商店
電話浪花八七〇、八七一

英語生徒募集

高等女學校卒業生に適當の各級あり又年長者にして英語初歩より學ばんとするものに懇切に教授す（ピアノ個人教授の需めに應ず）

英語專門私立 **櫻井女塾**

本郷區彌生町三番地（電話下谷六八一五番）

耳鼻咽喉科專門 大野醫院

（入院隨時）

院長 耳鼻咽喉科 大野喜伊次

東京京橋區南鍛冶町廿七
電話京橋一〇三五

◎產婦人科◎小兒科

宅診午前 往診午後
病室、產室ノ設アリ入院ノ需メニ應ズ

院長 女醫 吉岡彌生

東京市麹町區飯田町四丁目卅一番地
電話番町 二三五七

東京至誠病院

マッサージ夏期講習會

一、目的 家庭に必要なる衛生及び慰安マッサージを教授す
一、場所 牛込區市ヶ谷田町二ノ廿一松宮方（婦人週報社附近）
一、期日 自七月十六日至七月卅一日 自八月一日至八月十五日 自八月十六日至八月卅一日 ｝日曜日を除き毎日午前二時間
一、人員 一回十人を以て定員とす
一、講習料 金拾圓也前納の事
一、證書 講習修了者には修了證書を交付す
一、特典 講習修了者は會員として今後の藤井女醫主催の衛生講習會に隨意傍聽又は硏究に出席する事を得

講習主催者及主任 女醫 藤井孝子

右御希望の方は至急牛込區市ヶ谷田町二ノ十七婦人週報社（電話番町四五六六）に申込まれたし。

產科、婦人科、小兒科

女醫 井出茂代

東京府內藤新宿番衆町卅一番地
電話番町三六七七番

○診察、午前、夜間

松下皮膚科醫院

○京橋南八丁堀櫻橋際
（電京 二二三一番）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

大妻技藝學校

第三回 個人教授 夏季講習會

一、會場 東京麴町區上六番町七番地 大妻技藝學校

電話番町一一二〇番
振替口座東京三一六〇九番

一、科目及び講師（科目イロハ順）

生花盛花投入茶の湯　久野蓮峯
縫細工科　大妻一惠　本間喜美子
綿細工科　矢吹鎭徳　吉岡房次郎
摘細工科　青柳優子　横山芳山
袋物科　滋野喜代子　高橋柳子
編物科　清水類子
作法科　市守謹吾
裁縫科　大妻一惠　奧平加賀惠　山内千代
儀式用折紙並に水引結方科　大妻一惠　水野佐代子
刺繡科　青柳禮子
絞花科　矢吹鎭徳
壜細工科　大妻一惠　平野すて
染絞科　富田輝夫　椿登喜子

開催期日　七月廿日ヨリ八月卅日迄期間中ハ何時デモ入會ガ出來マス。但各科ノ講習細目ハ入會ノ日ヨリ凡ソ二週間以内ニ出來マス

時間　各科共午前八時ヨリ午後四時迄個人教授ノ方法デ敎授シマスカラ何科目デモ隨意ニ兼修スルコガ出來マス

講習料　普通科金壹圓五拾錢高等科金貳圓束修不要

講習器具及材料　御持合セノ品ハ御持參御隨意デス御持合セ無イ方ハ當校内ニ全部取揃ヘテアリマスカラ實費デ御讓リ致シマス

入會申込手續　御志望ノ方ハ入會申込書ニ希望ノ科目ヲ記入シテ會費ト共ニ入會ノ日迄ニ差出シヲ乞フ

講習證書　規定ノ科目ヲ修了シタ方ニハ講習證書を差上ゲマス

寄宿　遠方ノ方デ當地ニ御親類ノ無イ方ハ御志望ニヨリ本校内ニ寄宿ヲ許シマス寄宿料ハ一日分食費、會費、寝具、電燈、風呂等一切デ參拾五錢一ケ月以上寄宿ノ方ハ當校ノ別ニ定メタ規定ニヨリマス

本校在地及ビ注意　遠方ノ方ハ當市内ノ何レノ驛ニ御着キニナリマシテモ御荷物ノ配達ヲ驛ニ托セラレ電車デ靖國神社横（富士見町）迄ノ切符ヲ買ヒ求メラレ下車シテ左ニ半丁坂ノ途中デアリマス

參觀　參觀御希望ノ方ニハ實習並ニ製作標本ヲ御覽ニ入レマス

校則並ニ講習細目御入用ノ方ハ郵券二錢御送リ下サイ

弊店の特色

御召　織式　縞染

△古手物モ新規同樣ニ相成候
△出來期日ハ最モ正確且ツ迅速ヲ旨ト致シ候
△御註文ノ際ハ御一報次第早速店員御伺御用命ニ應ズベク候

中澁谷六百十八番地（玉川電車通西郷邸前）
百足屋染物店
平田孫太郎

▲僕の如きは斯う思ふ胃病藥としては**太田胃散**が覇王だ
●僕の如く平常胃の惡くて困る者は**太田胃散**を服むに限る
■僕の如く兎角飲べ過る者は缺かさず**太田胃散**を服むがよい
▲僕の如き大酒家は年が年中胃病藥**太田胃散**が離されぬ
◉僕の如き甘黨は**太田胃散**がなければ助からぬ
●僕の如く胃が痛なり胸がやけたりする者は**太田胃散**でスグ治る
▲僕の如き不養生な者は**太田胃散**を常用せんと如何んね
◎僕の如き大の胃病患者は衷心から**太田胃散**を崇拜するよ
●僕の如く始終**太田胃散**を服む者は[illegible]が[illegible]用だ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

拾五大學編輯全國青年機關

斯論

斯論壇 …… 社説

文裝的武備 …… 内務大臣 後藤新平

暗黑時代に西郷を思ふ …… 前法相 尾崎行雄

浩く江湖の壯者に叩く …… 元田肇

臨時外交調査會の批判

□臨機啓沃の源泉 …… 前政友幹事長 江藤哲藏

□三角同盟と寺内伯 …… 憲政幹事長 富田幸次郎

□國防會議の縫態 …… 國民黨議員 高木益太郎

□國論統一の大機關 …… 慶大教授 林毅陸

□國論全一なの外國一致 …… 早大教授 永井柳太郎

□不完全獨立の外交 …… 法學博士 松波仁一郎

□自主外交上の師府 …… 高師教授 中目覺

□外交上の元老の調査局 …… 法學博士 江木翼

□第二元老の大發展 …… 法學博士 大場茂馬

□對外政策の疑結 …… 明大教授 植原悦次郎

□難局救濟の場合に

□列國會議の場合に …… 元政務局長 早川鐵治

支那の時局に於ける張動 …… 鵜崎鷺城

貴族院論 …… 内務次官 水野錬太郎

議政壇上の憲法 …… 農學博士 佐藤昌介

清朝史の裏面 …… 久保天隨

大那翁に對する縦横批判 …… 長瀬鳳輔

波斯横斷記 …… 陸軍大將 福島安正

戀愛無國境 …… 山中冬二

處女教育に及ばす不良青年の影響

徳育の十九時間 …… 山脇房子

敵視するの無價値 …… 嘉悦孝子

田舎出は安心 …… 吉岡彌生

傭人の提撕に待て(處分法) …… 警保局長 永田秀次郎

統計上より見たる(處分法) …… 監獄局長 谷田三郎

神聖なる自覺を …… 三角錫子

綿羊の群狼 …… 小橋三四子

比較的無危險 …… 三輪田元道

小説

□汐　垂髪 …… 中谷徳太郎

□湯氣 …… 中村玉代

□移り行く心の姿 …… 坪内士行

七月號

東京牛込矢來町十一 電話番町一五六八

帝國聯合青年會發行 振替東京三五三七五

(定價廿錢) 郵稅一錢五厘

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

發行所 東京市牛込區市ケ谷田町二丁目十七番地 婦人週報社

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA